



KUMAMOTO

# GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

R.I. 会長テーマ

「ロータリーのマジック」

R.I. 会長 ステファニー・A.アーテック

2024～  
2025年度  
テーマ

R.I.2720地区テーマ

「寛容な心でロータリーの未来、  
そして若者の未来を考えよう」

R.I.2720 地区 ガバナー

三村彰吾

熊本G.R.C.テーマ

「ロータリーに目的を持ち  
人生を豊かにしよう」

熊本グリーンRC会長

宮部康弘



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：宮部康弘 ■幹事：河島一夫 ■会報担当：田中慎二  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー  
第2720地区

## 熊本グリーンロータリークラブ週報

第 1556 回

2024 - 2025 年度 第 31 回

令和 7 年 4 月 14 日

【例会】

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

・「奉仕の理想」（ロータリーソング）

来訪者紹介（宮部康弘会長）

来訪者なし

友情の握手

会長挨拶（宮部康弘会長）

皆さんこんばんは。本日、ステファニー・アーテック R I 会長から皆さんにメッセージが届いていると思います。内容を要約しますと、現在不確実性が増した世界情勢が私たちのロータリー活動に悪い影響をあたえるかも知れない、しかし私たちロータリークラブの使命と価値観は不変であり、これまで通りポリオを撲滅し、紛争地域の根本解決を目指し、貧困、不平等を無くし、教育機会の提供を提供していく、という決意にも見える内容でした。なぜこのタイミングでこのようなメッセージを発信したのか R I 会長の意図は分かりませんが、日推測も、出席するかどうか決めるには及ばないだ

するに現在、トランプ氏の関税合戦により世界中に衝撃が走り、株価は乱高下し、経済は混沌としています。これがきっかけで世界の連帯感が薄れていく中で世界中のロータリアンの不安を取り除く目的があったのかも知れません。今、トランプ政権は関税を引き上げることで貿易赤字の削減を図り、国内産業にテコ入れを行い、雇用を生み出し、税収を増やす事で財政赤字の削減を目指しています。アメリカの赤字国債は5,000兆円を超えます。国債金利が4.5%です。1年間で200兆円を超える利息を払うこととなります。また、貿易収支も180兆円の赤字です。国際収支も赤字で、全部赤字のアメリカの台所は真っ赤っかです。ちなみに日本は5.3兆円の貿易赤字ですが、国際収支は20兆円の黒字なので日本の台所はセーフです。中国は景気は悪くなりGDPも下降していますが、いまだに12兆円の貿易黒字で経済の勝ち組です。このような中でアメリカはトランプ氏から見れば他国にかまっている余裕はない瀕死状態に見えているのかも知れません。いずれにしても R I 会長のメッセージからこの深刻な状況が伝わる気がします。この混沌とした状態の出口はまだ先のようにですが、わからない未来に不安を感じていても時間をもったいないだ

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

### 卓話予定

- 4/21 「地区研修協議会 報告」 No 2
- 4/28 「地区大会 出席報告」 宮部康弘会長
- 5/5 祝日休会
- 5/12 「第5回クラブ協議会」（新旧合同）

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kgrc.com/>

けです。私たちは今できる事をしっかりと行っていきましょう。では、本日もよろしくお願いたします。

## 幹事報告 (河島一夫幹事)

### ■ 報告事項 (その他のロータリー関係)

#### 地区・研修協議会における募金のお礼

4/6に行われた地区研修・協議会においてローターアクトが募金活動を行いました。多くのロータリアンから多大なる募金のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

今回の募金額

- ・ ミャンマー大地震支援募金 167,564円
- ・ ローターアクト活動支援募金 181,695円
- ・ ポリオ募金 90,741円

総合計 440,000円

## 出席報告

(クラブ管理運営 山口悦史 会員)

	会員総数	20名	出席率
4月14日	出席免除会員数	0名	65.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	13名	
3月17日	前回出席会員数	14名	70.00%
	メイクアップ数	0名	
	修正出席会員数	14名	
メイクアップ済み会員及メイクアップ訪問先			
なし			

## 委員会報告

「熊本県ロータリー奨学会第59集」内容紹介

報告者：河島一夫 熊本県ロータリー奨学会 評議員

お手元に配布しております文集は、当クラブを含めて熊本市域17RCの寄付金で運営しております。熊本県ロータリー奨学会という団体から毎年発行される文集です。

1P目裏に今年度奨学金を貰う32名の名簿があり、内容は奨学生全員の「1年間を振り返って」という内容の作文、財団の決算報告書、これまでの900名近いOBの名簿と寄せられた近況及び財団の1年間の活動報告等が掲載されております。

皆様に1番身近な奉仕先だと思しますので一読下さい。

## 熊本グリーンRAC主催「第2回新緑の芸術展」作品募集について

報告者：河野景治 会員

テーマは「魔法」

テーマに沿った部門と自由部門に、絵画、彫刻、工芸、書、写真等、会員やご家族の方の作品を出展してみませんか？出展申し込みは2025年5月5日(月)まで

展示：ギャラリーカフェ 不言亭～fugentei

会期：6月17日(火)～21日(土)、24日(火)～28日(土)

時間：11:00～17:00

※最終日6月28日(土)のみ11:00～16:00

## スマイル (山下佳介スマイル担当)

### ●山下佳介 君

「昨日は、知り合いの新築内覧会に行って来ました。家だけで1億4000万円、衣装部屋があり、リビング40畳の2階吹き抜けなど、とても素敵な家でした。また建てたいと思ってきました。」

### ●宮部康弘 君、河島一夫 君、栗山義則 君、荒木一之 君、江上泰弘 君

「本日は地区・研修協議会」の報告です。山口会長エレクト、各委員長の皆様よろしくお願いいたします。」

### 3. 例会プログラム

#### 地区研修・協議会 報告パート 1

- ・ 会長部会 山口 翼 会員
- ・ 幹事部会 田代 武 会員
- ・ 管理運営部会 河島一夫 会員
- ・ 会員増強部会 田中慎二 会員
- ・ 職業奉仕部会 宮部康弘 会員



会員増強部会 田中慎二 会員



会長部会 山口 翼 会員



職業奉仕部会 宮部康弘 会員



幹事部会 田代 武 会員



管理運営部会 河島一夫 会員

### 4. 閉会・点鐘

\* 終了後、定例理事会開催



#### 寄付金速報 — 単月では例年並みの推移 —

3月末までの寄付金は前年同期と比べて8.8%減(普通寄付金: 1.0%減、特別寄付金: 12.4%減)、約1億740万円の減少となりました。3月分の単月寄付額としては、昨年度より約580万円増加しました。今年度も残り2カ月半ほどとなりました。4月は新規奨学生に関する行事も増加しますので、引き続き米山 記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

前年同期比

-8.8%

普 -1.0% 特 -12.4%

## 1 第6代よねやま親善大使が決定！ 7/1 始動

昨年12月から約3カ月間にわたり行われた「第6代よねやま親善大使」の募集には、29人から応募がありました。広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考を行った結果、以下の3人が新たな大使に決定しました。任期は2025年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事やクラブ例会などでのスピーカーとして、ぜひお声掛けください。よねやま親善大使に関するご連絡は、当財団事務局広報担当まで。



**プーガ フロレス パブロ マヌエル**  
(メキシコ/2006-08/東京三鷹RC)

三菱鉛筆株式会社勤務。第2750地区東京広尾RC会員。2023-24年度同クラブ会長を務め、多様性、公平性、インクルーシブ性(D E I)を意識したクラブ運営に取り組む。会長年度に同地区内一人当たりの米山寄付額が地区5位を達成。



**ガンバト トウメンバイヤル**  
(モンゴル/2014-15/大府RC)

ココザス株式会社勤務。第3450地区フレールAC元会長。モンゴルの小中高一貫公立学校への図書室設置プロジェクトや、チョンジュRC(韓国)と協力し経済的に困難な家庭の幼稚園児への学費支援を行うなど、さまざまな活動に尽力。



**カレ タオ**

(ベトナム/2023-25/旭川RC)

生活協同組合コープさっぽろ勤務。2024-25年度在日ベトナム学生青年協会・北海道支部の会長を務め、日本とベトナムの交流支援活動に尽力。その他、日本とベトナム両国の交流促進のためのイベントを多数企画・運営している。

## 2 米山奨学生が感謝を表現 第2660地区学友会

3月2日、大阪市内のホテルにて、国際ロータリー第2660地区米山学友会が「米山感謝祭」を開催しました。「米山感謝祭」とは、米山奨学生がお世話になったカウンセラーや世話クラブ、ロータリー会員への感謝の気持ちを伝えるため、奨学生自ら企画し、運営するイベントです。

当日は米山奨学生・学友47人、同地区の大橋秀典ガバナー、吉川健之ガバナーエレクトをはじめ、多数のロータリー会員が駆け付け、参加者は106人となりました。

プログラムでは、「感謝の時間」と題し、奨学生たちがサプライズプレゼントや手紙をカウンセラーに贈り、直接思いを伝えました。また、米山バンドによる演奏と合唱が行われ、大盛況



バンド演奏を行う奨学生たち

のイベントとなりました。

同学友会会長の呉偉偉さん(2010-11/青森東RC)は、「奨学生たちは約3カ月前から何度も打ち合わせを重ねてきました。参加者からは『カウンセラーになって本当によかった』『自分もカウンセラーをやってみたい』といった声も聞こえました。大きなやりがいと、米山奨学事業の素晴らしさを体感できた一日でした」と述べました。